

平成30年度

財政状況を公表します

問合せ先
財政課 ☎ (275) 6084

歳出

■ 予算現額 269億5,936万7千円
■ 支払済額 208億9,856万5千円
■ 支払率 77.5%

民生費

医療費の助成
福祉施策など

99億6,795万4千円
89億7,463万円



土木費

道路・公園・河川
の整備事業など

56億5,556万円
23億3,036万円



公債費

市の借入金の元金
利子償還金など

40億1,925万9千円
39億6,826万円



教育費

学校施設の整備
図書館の管理運営など

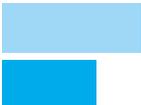
19億4,845万5千円
16億6,172万8千円



総務費

市税の賦課・戸籍
選挙事務など

19億2,392万6千円
13億408万9千円



衛生費

健康づくり・ごみ処理
リサイクル推進など

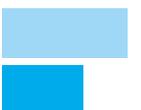
17億1,984万2千円
15億3,571万7千円



その他

消防、産業・農業
振興など

17億2,437万1千円
11億2,378万1千円



財政状況の公表は、地方自治法第243条の3第1項並びに「財政状況」の作成及び公表に関する条例に基づき、市の財政について十分なご理解をいただくとともに、市の財政運営に対して、より一層のご協力をお願いするために毎年2回定期的に公表しているものです。

今月号では、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの市の財政状況についてお知らせします。

※数字はすべて平成31年3月31日現在のものです。

特別会計

特別会計とは、一般会計とは切り離して独立した経理が行われる会計のことをいいます。各特別会計には予算があり、一般会計における単一会計主義の原則に対する例外とされています。特別会計は、下水道や国民健康保険などの事業における使用料や保険料などの歳入をもってそれぞれの事業を行います。

(千円)

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	7,292,288	6,071,732	6,632,848
公共下水道事業	2,753,076	2,147,506	2,038,408
墓地事業	6,782	5,105	3,238
介護保険	5,314,722	4,675,411	4,454,122
後期高齢者医療保険	869,694	821,766	727,314

一般会計

市税収入の内訳

市の歳入の大半は、市民の皆さんから納めていただく市税によって成り立っています。

平成30年度の市税収入は、100億3,068万円となっています。市民1人あたりに換算すると17万3,700円となります。

このお金は、保健や福祉、道路、学校、公園など、市民の皆さんの生活を豊かにするために役立てられています。

なお、都市計画税は、街路、下水道、公園等の都市計画事業に充たされています。

歳入

■ 予算現額	269億5,936万7千円
■ 収入済額	217億4,441万7千円
■ 収入率	80.7%



103億5,000万円	市税
100億3,068万円	皆さんに納めていただいた税金



48億4,519万9千円	国庫支出金
40億8,273万8千円	国からの負担金や補助金など



46億5,404万4千円	市債
23億4,964万4千円	国や銀行などからの借入金



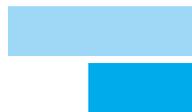
18億2,511万1千円	府支出金
11億260万円	府からの負担金や補助金など



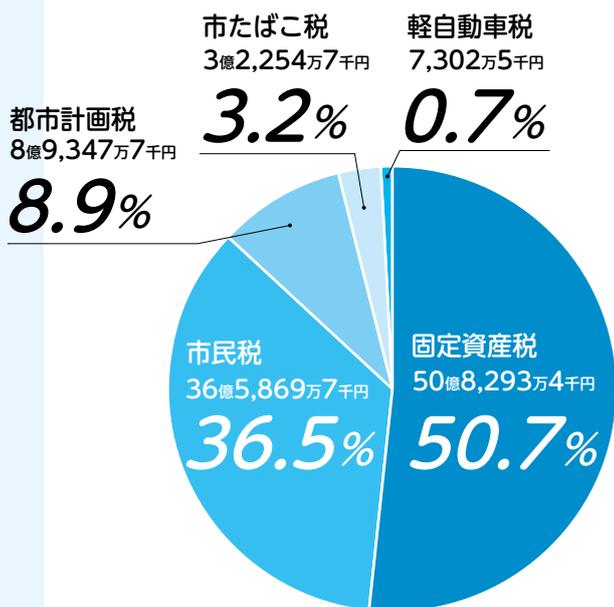
16億6,395万2千円	地方交付税
16億8,885万5千円	国税の一部から市の財政力等に応じて交付されるお金



9億8,000万円	地方消費税交付金
9億5,071万2千円	人口等により配分される消費税の地方分



26億4,106万1千円	その他
15億3,918万8千円	繰入金や諸収入、地方譲与税など



水道事業会計

水道事業会計は企業会計方式により経理を行っており、財政状態を表す「貸借対照表」と経営成績を表す「損益計算書」で決算を表します。水道事業は皆さんの水道料金の収入をもって配水管や配水場施設の更新・維持管理等を行い、安全で安心な給水サービスに努めています。

貸借対照表

資産	負債・資本
流動資産 2,194,460	流動負債 351,147
	固定負債 1,422,768
固定資産 4,026,045	繰延収益 867,047
(減価償却累計額 △4,960,759)	資本 3,579,543
合計 6,220,505	合計 6,220,505

(千円)

損益計算書

費用	収益
営業費用 1,109,188	営業収益 1,162,257
営業外費用 19,405	
特別損失 2,067	
当年度純利益 108,473	営業外収益 76,876
合計 1,239,133	合計 1,239,133

(千円)

※消費税抜

※消費税抜

市の借入金

公債の残高と土地開発公社に対する債務保証額の合計が、実質的な後年の債務となります。

▶ 公債残高

542億3,535万3千円

公債とは、主に道路や学校、公園などの建設事業等に充当するために、市が国や金融機関等から借り入れた債務。将来の償還を見据えながら、計画的に借り入れを行っています。

【公債残高の内訳】

(千円)

会計等		未償還元金
会計	一般会計	35,379,926
	公共下水道事業特別会計	14,148,145
	水道事業会計	1,296,232
小計		50,824,303
一部事務組合	泉北環境整備施設組合	3,333,975
	公共下水道	3,000,880
	ごみ処理	298,949
	し尿処理	30,960
	下水道(都市下水路)	890
	その他	2,296
	高石市泉大津市墓地組合	77,075
小計		3,411,050
合計		54,235,353

▶ 土地開発公社に対する債務保証額

5億1,300万円

市では、平成25年度に、第三セクター等改革推進債を活用するなどして、土地開発公社の債務を大幅に解消しました。現在、公社の保有する土地は、次のとおり都市計画道路の南海中央線用地で約19億円です。この取得費用は、市からの借入金約13億円を除き、金融機関からの借入金5億1,300万円で賄っており、市が債務保証を行っています。今後、公社が先行取得している用地の計画的な買い戻しを進め、債務の全面的な解消を図り、令和2年度までに解散させるべく取り組んでいきます。

【債務保証額の内訳】

	保有面積 (㎡)	保有高 (千円)
南海中央線用地	3,019.30	1,946,297

実質的な後年の債務 (上記の合計)

547億4,835万3千円

▶ 一時借入金現在残高

一時的な現金不足が生じた場合に、その支払い資金の不足を補うために金融機関等から借り入れるもので、その年度内に償還されます。年度内に償還されるという点で、公債と区別されています。

・国民健康保険特別会計…6億円

市有財産

▶ 目的基金等

62億943万5千円

※ 目的基金等のうち、一般会計が24億6,000万円の借り入れを行っており、実質的な目的基金等は37億4,943万5千円となります。

【目的基金等の内訳】

(千円)

財政調整基金	2,841,866
保健医療基金	2,071,183
泉北3区公共施設整備基金	12,852
公共施設整備基金	1,873
福祉基金	48,578
緑化基金	81,692
奨学基金	47,363
文化・スポーツ・国際交流振興基金	25,295
土地開発基金	576,826
介護保険給付費準備基金	401,262
市営浜墓地基金	50,176
石油貯蔵施設立地対策等基金	50,469

▶ 土地

607,468.62 ㎡

▶ 建物

189,498.10 ㎡

▶ 財産区基金

財産区基金とは当該地区住民の総意に基づき地区の施設整備等を図るなど、市民福祉の向上のために資する基金。

【財産区基金の内訳】

(千円)

基金名	現在高
今在家(上池関係地区)地区整備基金	12,773
南(長取石池関係地区)地区整備基金	18,107
土生・新家・綾井・大園・富木・北・南(旧取石池関係地区)地区整備基金	7,311
合計	38,191